

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)

☑ 一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。9月定例会では、18名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。



ごみ処理は、市民生活に密着した重要な行政サービス 千葉 良秋 (健政会)



◆ごみの排出量を予測することは、将来のごみ焼却施設の規模に大きく影響し、改修や更新の費用算出にも影響を与える!

- ① 将来の排出ごみ量の予測は。
 - ② 令和11年度に予定されている稲荷山環境センターの大規模改修の予定額とその財源は。また、改修コストを低く抑えるための検討は。
 - ③ 大規模改修工事により、保守点検や施設運転の費用はどの程度削減されるのか。
- 環境経済部長** ①ごみの減量化や資源化の取り組みにより排出量は着実に減少してきており、今後も、この傾向は続くものと考えている。
- ②「狭山市稲荷山環境センター施設整備基本方針」では、工事費を税抜きで約70億円と見込んでいる。財源の内訳は、国の交付金が約26億円、

起債が約37億円、一般財源が約7億円である。また、コストを抑えるため、焼却炉を3炉中2炉の改修にとどめるなど効率化を図ることを検討している。

③令和14年度から延命化目標年度である25年度までの12年間、保守点検費用の年平均額を1億6千万円から1億8千万円と見込んでいる。元年度から4年度までの保守点検費用の年平均額2億3千万円と比較し、年間5千万円から7千万円の削減を見込んでいる。また、電気料金は蒸気発電機の設置により稲荷山環境センターで使用する電力の全てを賄うことを見込んでおり、年間1億円から1億3千万円の削減となる。



その他のテーマ▶ 4Rの推進は省資源のきめて ▶ リサイクルに取り組むまち「さやま」

地区センターの機能拡充と行政のDX 関根 弘樹 (公明党)



◆地区センターの役割

狭山市にある8つの地区センター(内、1か所は入曽地域交流センター)の役割は。
市民部長 多様化する地域の問題、住民ニーズの相談など、住民の利便性や福祉向上を図るための拠点機能としての役割を担っている。



多くの役割を担う地区センター

◆狭山市における行政DXの方向性

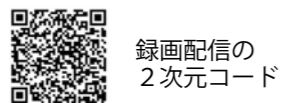
行政のDXの進捗と今後の見通しは。
企画財政部長 パソコンやスマートフォンを利用し、いつでもどこでも手続きができる「行かない市役所」の実現を目指し、現在約150業務の手続きをオンライン化した。今後は来庁した市民の窓口手続きが簡素化できる「書かない窓口」の本格導入にも取り組んでいく。

◆デジタル活用による地区センターの機能拡充

デジタルを活用し、地区センターを地域の相談窓口として位置づけることについての見解は。
企画財政部長 地区センターにおいても、各種手続きのオンライン化を推進し、住民移動に係る手続きや福祉に係る相談などについて、関係部署とオンラインでつなぐなどの業務拡充を検討しているところであり、デジタル技術を活用したスマート自治体の実現に向け取り組んでいく。
その他のテーマ▶ 今後の選挙投票所と高齢者の投票対応



私有林のナラ枯れ被害木について市の支援を! 豊泉 正人 (健政会)



◆公園などのナラ枯れ

- ① これまでに伐採処分した本数と費用は。
 - ② 私有林における被害木に対する市の対応や方針は。
 - ③ 私有林におけるナラ枯れに対する補助の考え方は。
- 都市建設部長** ①令和2年度から4年度までの3年間で、伐採本数939本、事業費8,537万6,500円である。
- 環境経済部長** ②市や県に問合せなどがあった場合、私有地には職員の立入りができず、また、私有林における被害木の伐採などについては所有者に対応していただくことから、被害にあった樹木の見分け方や処分方法などについて説明している。

また、第三者から情報提供があった場合は、市において被害木の所有者を確認した上で、所有者に対しナラ枯れをしていると思われる旨の通知をしている。

③今後、ナラ枯れ被害が一層進み、枯損した樹木が倒木などによって人身または家屋などへ被害を及ぼす危険性は高まってくると考えており、現在、私有林における危険性の高い被害木の伐採などに対する補助制度の創設について検討を行っている。



被害木根本の木屑(フラス)

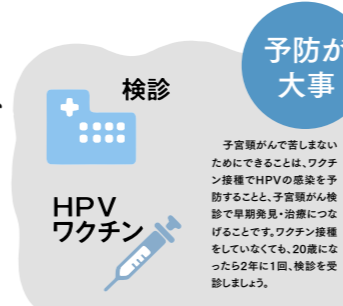


子宮頸がん撲滅対策/带状疱疹ワクチン/学校図書館の充実 船川 秀子 (公明党)



◆子宮頸がんワクチンの接種率

子宮頸がんワクチンの接種率を上げるためにどのような周知啓発を行っていくのか。
健康推進部長 広報紙、公式ホームページへの掲載、医療機関、教育委員会などとも連携を図り、様々な機会を捉え、接種対象者本人、家族に効果的な周知啓発に取り組みたい。また、若年層に効果的なSNSを活用するなど分かりやすい情報発信に努めていく。



出典:厚生労働省HPより

◆带状疱疹ワクチンについて

带状疱疹ワクチンの接種に対する助成を市として検討しているか。
市長 近隣市や他市の動向を把握し、今後の予算編成を行う中で検討していく。

◆学校図書館の充実

学校図書館の充実のため、司書を小学校にも配置することができないか。
学校教育部長 新たに小学校へ配置することは、さらなる児童への読書活動推進にもつながる一方で、教育予算全体の中で財源の確保などについても議論を深める必要がある。

その他のテーマ
▶ 学校図書館を利用しやすい環境にするには
▶ 子宮頸がん検診の受診率アップに向けて